

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名		必／選	第1学年			第2学年			教員名	実務経験及び、実務経験を生かした授業方針	
			学期及び授業時間数			学期及び授業時間数					
			前期	後期	年間	前期	後期	年間			
社会の理解Ⅱ (社会保障制度)	(講義)	必		30	30				柴崎 雄史	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人福祉施設にて14年勤務。2021年3月より本校専任講師として勤務。介護老人福祉施設での、ユニット型、従来型、実習指導者、相談員の経験を生かし利用者を取り巻く法律・制度の重要性や、それがどのように関わっているかを説明し理解を深める。	
社会の理解Ⅲ (介護を取り巻く諸制度)	(講義)	必		30	30				柴崎 雄史	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人福祉施設にて14年勤務。2021年4月より本校専任講師として勤務。介護老人福祉施設での、ユニット型、従来型、実習指導者、相談員の経験を生かし利用者を取り巻く法律・制度の重要性や、それがどのように関わっているかを説明し理解を深める。	
介護の基本Ⅰ	(講義)	必	30	30	60				長谷川 方代	病院で看護師として16年勤務(主に内科および医療型療養病棟)。2016年より本校専任講師として勤務。介護支援専門員。現場経験を基に、主に内部疾患について説明をし、どのような障害が生活を困難にしているか理解を深める。	
介護の基本Ⅱ	(講義)	必	30	30	60				長谷川 方代	病院で看護師として16年勤務(主に内科および医療型療養病棟)。2016年より本校専任講師として勤務。介護支援専門員。現場経験を基に、主に内部疾患について説明をし、どのような障害が生活を困難にしているか理解を深める。	
介護の基本Ⅲ	(講義)	必				30	30	60	長谷川 方代	病院で看護師として16年勤務(主に内科および医療型療養病棟)。2016年より本校専任講師として勤務。介護支援専門員。現場経験を基に、主に内部疾患について説明をし、どのような障害が生活を困難にしているか理解を深める。	
生活支援技術Ⅰ	(講義・演習)	必	60		60				長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
生活支援技術Ⅱ	(講義・演習)	必	60		60				長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
生活支援技術Ⅲ	(講義・演習)	必		60	60				長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
生活支援技術Ⅳ	(講義・演習)	必				60		60	長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
生活支援技術Ⅴ	(講義・演習)	必					60	60	長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
介護過程Ⅰ	(演習)	必	30		30				長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
介護過程Ⅱ	(演習)	必		30	30				長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
介護過程Ⅲ	(演習)	必				60		60	長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
介護過程Ⅳ	(演習)	必					30	30	長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
介護総合演習Ⅰ	(演習)	必	30		30				長谷川 方代	病院で看護師として16年勤務(主に内科および医療型療養病棟)。2016年より本校専任講師として勤務。介護支援専門員。現場経験を基に、主に内部疾患について説明をし、どのような障害が生活を困難にしているか理解を深める。	
									長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
介護総合演習Ⅱ	(演習)	必		30	30				長谷川 達也	本校卒業と同時に「介護福祉士」取得。介護老人保健施設にて9年10か月勤務。2018年4月より本校、専任教師として勤務。特に介護老人保健施設では実習指導者として実習生の教育にあたった経験を生かし、実習の意義や実際に体験することの重要性等、学生がどのように実習学習にのぞめば学習が深まるか指導する。	
介護総合演習Ⅲ	(演習)	必				30		30	長谷川 方代	病院で看護師として16年勤務(主に内科および医療型療養病棟)。2016年より本校専任講師として勤務。介護支援専門員。現場経験を基に、主に内部疾患について説明をし、どのような障害が生活を困難にしているか理解を深める。	
発達と老化の理解Ⅱ	(講義)	必		30	30				松田 直子	病院での看護師経験25年(消化器外科、整形外科、人工透析室他)。2010年から9年9ヶ月看護教員として、基礎看護学の講義や、病院での実習指導にあたった経験を生かし、介護職に必要なからだのしくみや疾患について理解を深める。	
障害の理解Ⅰ	(講義)	必				30		30	長谷川 方代	病院で看護師として16年勤務(主に内科および医療型療養病棟)。2016年より本校専任講師として勤務。介護支援専門員。現場経験を基に、主に内部疾患について説明をし、どのような障害が生活を困難にしているか理解を深める。	
こころとからだのしくみⅡ	(講義)	必	30		30				松田 直子	病院での看護師経験25年(消化器外科、整形外科、人工透析室他)。2010年から9年9ヶ月看護教員として、基礎看護学の講義や、病院での実習指導にあたった経験を生かし、介護職に必要なからだのしくみや疾患について理解を深める。	
こころとからだのしくみⅢ	(講義)	必		30	30	30		30	松田 直子	病院での看護師経験25年(消化器外科、整形外科、人工透析室他)。2010年から9年9ヶ月看護教員として、基礎看護学の講義や、病院での実習指導にあたった経験を生かし、介護職に必要なからだのしくみや疾患について理解を深める。	
医療的ケア	(講義)	必				60	30	90	長谷川 方代	病院で看護師として16年勤務(主に内科および医療型療養病棟)。2016年より本校専任講師として勤務。介護支援専門員。現場経験を基に、主に内部疾患について説明をし、どのような障害が生活を困難にしているか理解を深める。	
授業時数の小計			570			450					
授業時数の合計数			1,020時間								